

都市再生整備計画 事後評価シート
霧島市国分中央地区

平成24年2月

鹿児島県霧島市

様式2-1 評価結果のまとめ

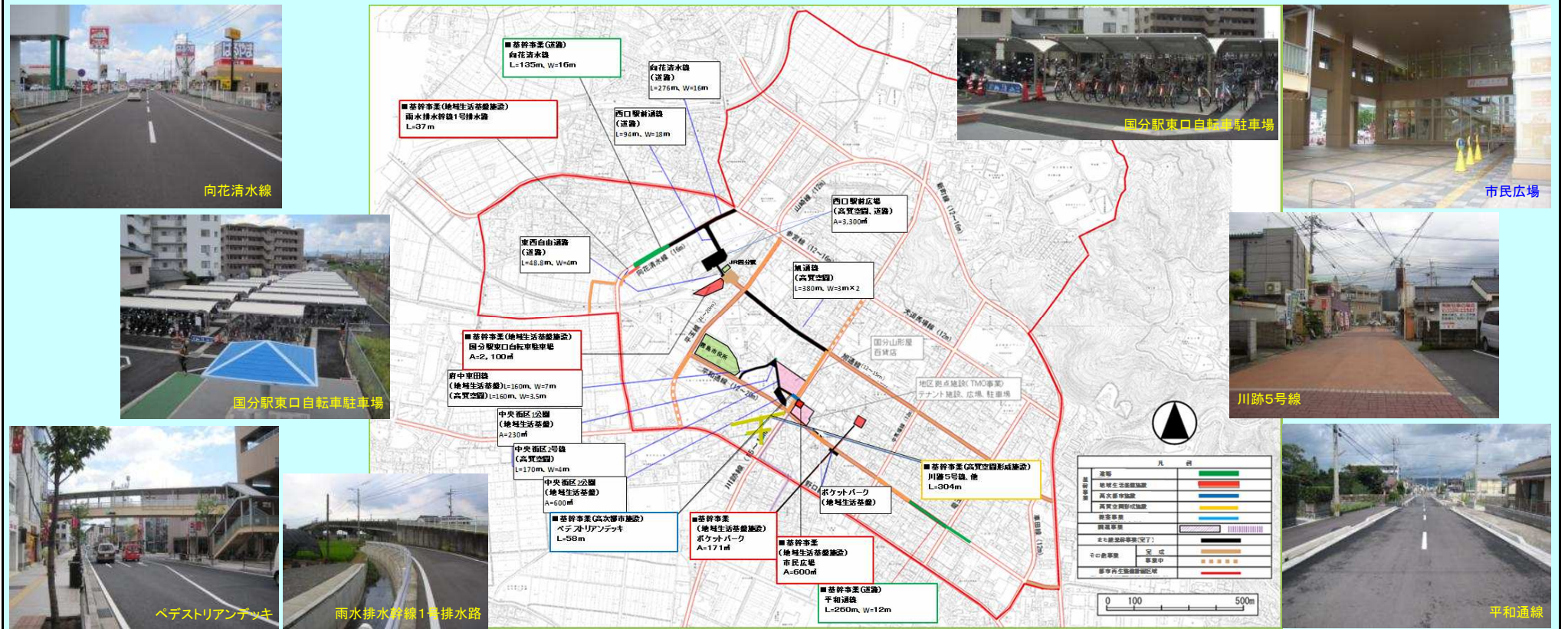
都道府県名	鹿児島県	市町村名	霧島市(きりしまし)	地区名	国分中央地区(こくぶちゅうおうちく)			面積	291ha			
交付期間	平成19~23年度	事後評価実施時期	平成23年度	交付対象事業費	923.80百万円	国費率	0.400628					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 (道路)向花清水線、平和通線、(地域生活基盤施設)市民広場、国分駅東口自転車駐車場、(高次都市施設)ペDESTリアンデッキ(※1)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業 (道路)中央1号線	削除/追加の理由 計画期間内実施が困難と判明したため。				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 目標1・目標2及びこれらの数値化指標にマイナスの影響があるが、数値目標は据え置いた。				
	新たに追加した事業		提案事業 (地域創造支援事業)雨水幹線1号排水路	削除/追加の理由 基幹事業の要件変更に伴い基幹事業として位置づけ。				影響なし。				
			基幹事業 ①(地域生活基盤施設)雨水幹線1号排水路 ②(地域生活基盤施設)ポケットパーク(※2) ③(高質空間形成施設)川跡5号線	削除/追加の理由 ①基幹事業の要件変更に伴い提案事業から基幹事業に位置づけ変更。 ②川跡5号線、中央通りの滞留拠点創出のため追加。 ③川跡通り会の要望によりカラー舗装化を追加。				目標1・目標2及びこれらの数値化指標にプラスの影響があるが、数値目標は据え置いた。				
	提案事業		なし	-				-				
交付期間の変更		当初 変更	平成19~23年度 変更なし	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
2)都市再生整備計画に記載した目標を数値化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	人/日	2,681	H18	2,681	H23	-	2,241	△	あり	市民広場、ポケットパーク(※2)、川跡5号線、ペDESTリアンデッキ(※1)等の整備により、国分中央地区のまちとしての総合力・回遊性は向上しつつあると考えるが、そのことが通りの回遊性(歩行者数)の顕在化に至っていない段階と考える(平成21年度以降は歩行者数が微増傾向に転じている。)。但し、ペDESTリアンデッキ(※1)の完成により人の流れが変わり、他の箇所が活性化された面もあったと想定される。	平成24年10月
	指標2	%	42.6	H18	63.9	H23	-	63.4	△	あり	ベDESTリアンデッキ(※1)、市民広場、川跡5号線等の整備により、中心市街地の活性化(買い物しやすさ、回遊性)は確実に進展しており、数値目標もほぼ達成している。	平成24年5月
指標3	棟	138	H18	26	H23	-	42	△	あり	雨水幹線1号排水路の整備により、床下浸水被害棟数は138棟から42棟と7割減となっており、数値目標の達成には至らなかったが、一定の事業効果は発現している。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1	人/日	4,723	H18	/	4,966	/	/	/	国分駅東口自転車駐車場の整備によりJR国分駅が利用しやすくなったこと、向花清水線の整備によりJR国分駅へのアクセス機能が向上したこと、市民広場、川跡5号線、ペDESTリアンデッキ(※1)等の整備により地区の拠点性が高まり地区外からの来客を誘発したこと、この3点から、JR国分駅の乗降客数が増加傾向を示している。	平成24年4月	
	その他の数値指標2	台/年	35	H18	/	24	/	/	/	国分駅東口自転車駐車場の整備により、駅前の放置自転車が増減し、JR国分駅での自転車盗難台数が減少した。今後とも、適切な管理運営を行うことにより、さらに減少していくことが期待される。	平成24年4月	
その他の数値指標3	台/年度	375,904	H19	/	448,218	/	/	/	向花清水線、平和通線の整備による道路交通ネットワーク機能の向上と、市民広場、ペDESTリアンデッキ(※1)、ポケットパーク(※2)、川跡5号線の整備による当該地区の回遊性と魅力の向上が相まって、来街者の車両を中心として駐車場の利用台数が大きく増加している。	平成24年4月		
その他の数値指標4	%	68.3	H18	/	79.6	/	/	/	集中豪雨時の浸水被害の要因となっていた雨水幹線の一部の整備(流下能力改善)の実施が、"防災に対する認識度合いが高まっていると感じる人の割合"の向上に貢献したと考えられる。	-		
4)定性的な効果発現状況	市民広場にて、フリーマーケット、音楽会、展示会等が盛んに催されており、地域交流の拠点となっている。 ・平成19年度:7回、参加者延べ910人 ・平成20年度:29回、参加者延べ1,120人 ・平成21年度:28回、参加者延べ1,200人 ・平成22年度:18回、参加者延べ1,356人 今後も市街地の活性化や市民の交流の場として、イベント等の開催希望の声が多くなっている。											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	①事業効果分析(中間評価):平成22年3月実施 ②市街地整備排水計画策定調査(指標3について):平成23年3月実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●① ●② -				
	住民参加プロセス	川跡5号整備における舗装色や舗装箇所、ポケットパーク(※2)における設備とその配置等について各通り会との協議:平成22年5~9月、平成23年8月~実施、実施回数4回、延べ27名と協議。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				

※1:ペDESTリアンデッキ:高架になっている歩行者用の通路(本都市再生整備計画では中央歩道橋)
 ※2:ポケットパーク:道路わきや街区内の空き地などわずかの土地を利用した小さな公園または休憩所

様式2-2 地区の概要

国分中央地区(鹿児島県霧島市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 未来に向けた新たな地域の発展をリードする安全・快適な国分地域の核と顔づくり 目標1: 商業の質的強化によるまちとしての総合力・回遊性の向上 目標2: 道路の質の改善と回遊性の創出 目標3: 安心・安全なまちとしての防災機能の向上	通りの回遊性: 中心市街地における1日あたりの歩行者数	単位: 人/日 2,681	H18 2,681	H23 2,241
	中心市街地が活性化されていると思う割合(買い物のしやすさ、回遊性)	単位: % 42.6	H18 42.6	H23 63.9
	床下浸水被害棟数	単位: 棟 138	H18 138	H23 26
	JR国分駅の乗降客数	単位: 人/日 4,723	H18 4,723	H23 4,966
	JR国分駅における自転車盗難台数	単位: 台/年 35	H18 35	H23 24
	国分中央地区における主な駐車場の利用台数	単位: 台/年度 375,904	H19 375,904	H23 448,218
	防災に対する認識度合いが高まっていると感じる割合	単位: % 68.3	H18 68.3	H23 79.6



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 幹線道路ネットワークの未結区間が残されているため、その早期整備による、中央地区へのアクセス性や中央地区内での回遊性の更なる向上を図る必要がある。 地区の拠点性・求心力の向上につれて、自動車交通の増加が想定されるため、市民生活に密着した細街路における安心・安全な自動車走行空間、歩行者空間の創出を図る必要がある。 依然、既設水路の過半が流下能力不足であるため、排水環境の抜本的改善に向けた対策方針を明確にし、排水機能改善(流下能力改善、流出抑制等)に努める必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 効果持続のための方策 <ul style="list-style-type: none"> ◇市民広場等での継続的なイベント開催 ◇ポケットパークの被災時における市民支援拠点・イベントスペースとしての活用 改善策 <ul style="list-style-type: none"> ◇歩行者の回遊性の向上と快適な歩行者空間の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・商業・業務拠点内の歩行者回遊ネットワークの整備 ・拠点地区内の夜の賑わいの創出や防犯性の向上を図るための環境整備 ・中心商業・業務拠点の求心力、賑わいの回復を図るための空き店舗等を活用したソフト事業の展開 ◇骨格道路の機能強化と市民生活に密着した道路の質の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・未整備の都市計画道路の早期整備による骨格強化及び市民生活に密着した道路及び交通施設の整備 ・商業・業務拠点、交通拠点、行政拠点を結ぶ道路ネットワークの整備 ◇安心・安全なまちとしての機能の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・安全性、防犯性の高い快適な歩行者空間や環境の整備 ・安心・安全のまちづくりに向けた排水施設の整備